

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔41〕 東京都台東区立松が谷児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ（平成23年末まで13こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（24年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円、 支出2,629,524,402円、 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区松が谷4-15-11					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC4階建て 3・4階 遊戯室・図書室・図工室・集会室・こどもクラブ室等 松が谷保育園併設					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000
決算	委託料	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,169,219	39,008,613
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,169,219	39,008,613
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数		日	333	334	335	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数		人	37,000	41,969	34,806	34,033

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・一人でふらっと来館した児童を遊びで繋げ、子ども達の交流や自主活動に広がる支援を行った。 ・駒形中学校の祭りへの参加、入谷老人福祉館や北上野長寿会との交流など、異世代交流を行った。 ・関係機関との連携を行い、それぞれの年齢を対象に様々な分野の活動を実施した。 				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [-]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	子ども達の自主活動の支援や地域の関わりに力を入れ、幅広い活動を行った。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。		
(2) 施設の維持管理	A	利用者数の多さに比べて施設が小さい制約があるが、環境整備と掲示の工夫を行い、利用者の視点に立った使いやすい施設を心がけた。また、老朽化や汚れが目立つ場所を重点に修繕を行い、施設を清潔に維持した。		
(3) 利用者の満足度	A	様々な行事への要望と日常活動とのバランスを考慮して日程調整や内容の検討を行い利用者の要望に応えた。また、近隣の小学校、主任児童委員、保護者を繋ぎ、孤立した子育てから地域ぐるみの子育てに向けた取り組みをしている。		
(4) 収入支出	A	消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		区内中心部にあるため利用者が多いが、近隣の公園の活用や施設との交流などにより、施設的な制約を工夫し幅広い活動を行った。活動実施を通して保護者や関係機関との信頼関係を築いている。		
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自主性・主体性を育むために「やりたいこと」への支援を行うとともに、継続した日常遊びの支援や行事の充実に取り組む。 ・利用しやすい児童館として環境整備・安全管理を徹底し、相談や要望を気軽に話せる利用者の立場に立った運営を目指す。 ・児童館から地域へのネットワークを広め、様々な年代との交流を重視した活動を行う。 				